

# りんご生育情報(6月号)

令和8年6月23日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-6127

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



## 1. 果実肥大状況

6月10日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、タテ径 35.0mm（平年比:119%）、ヨコ径 35.2mm（平年比:129%）と平年より大きく推移しています。

表1 果実肥大調査結果（mm）

|     | タテ径  | ヨコ径  |
|-----|------|------|
| 本年  | 35.0 | 35.2 |
| 平年値 | 29.4 | 27.4 |
| 平年比 | 119% | 129% |

※東和町の測定値。

## 2. 病害虫の発生状況

本年は生育ステージが大きく前倒しで進んでいるため、「例年通りの暦」で防除を考えると、一番大切な時期の薬剤散布を逃してしまいます。生育ステージに合わせて、タイミングの良い防除を心掛けましょう。

現在、特に警戒が必要なのが「果樹カメムシ類」です。近隣県ではすでに「越冬量の多さ」と「異例の早期飛来」による注意報が相次いで発令されており、管内でも今後の大量飛来に厳重な警戒が必要です。園地をこまめに巡回し、見つけ次第、速やかに効果のある薬剤で防除を行ってください。なお、カメムシ類は日中の気温が高い時間帯は飛び回って薬がかかりにくいので、動きが鈍い早朝か夕方の薬剤散布が効果的です。

また、病害では「褐斑病」に注意が必要です。5月以降の適度な降雨と日中の高温により、病原菌の感染に好適な条件が整っています。果実の初期肥大が非常に旺盛でデリケートな時期だからこそ、一度感染を許すと一気に拡大する恐れがあります。カレンダーの日付にとらわれず、次の降雨前のタイミングを捉えた「先手の定期防除」を徹底し、大切な果実を病害虫から守り抜きましょう。

### ◆6月の重点防除対象病害虫

- ・病害：斑点落葉病、輪紋病、炭疽病、褐斑病
- ・虫害：アブラムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類



斑点落葉病



褐斑病



クサギカメムシ(左下：幼虫)

### 3. 今後の管理について

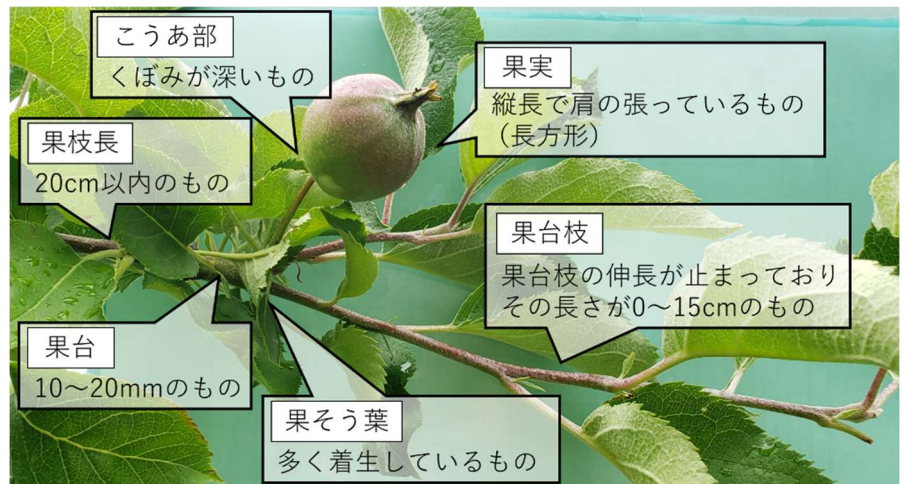
#### (1) 仕上げ摘果

##### ◆適正着果基準

| 品種                             | 摘果の目安    |
|--------------------------------|----------|
| 紅玉                             | 3頂芽に1果   |
| つがる、ジョナゴールド                    | 3.5頂芽に1果 |
| ふじ、王林、シナノゴールド、シナノスイート、ぐんま名月 など | 4頂芽に1果   |

##### ◆残したい果実

- ・果そう葉が着生している果実
- ・中短果枝の果実
- ・縦長で肥大良好な果実
- ・果柄が太く長い果実



#### (2) 新梢管理

徒長枝は、樹冠内部や下枝の果実の受光量を低下させ、薬剤透過性も悪くなります。また、徒長枝が吸収した養分、作った物質は果実の肥大や糖度向上のためにほとんど使われないと言われているため、発生状況をみながら徒長枝切りを行いましょう。

##### ◆作業時期：6月下旬～7月始め（貯蔵養分を使いきったタイミングから始める）

※樹勢を落ち着かせることを考えた場合。

強樹勢の場合⇒1回目：6月中、2回目：8月上旬、3回目：摘葉時期

適正樹勢の場合⇒年2回（上記1回目及び2回目）

##### ◆整理方法：①その後の発生を抑える場合

⇒基部は残さずきれいに剪除する

##### ②枝を再発生させたい場合 及び

側枝がはげ上がりやすい品種（「つがる」、「ジョナゴールド」、「王林」等）

⇒基部を数mm残して剪除する

参考：「りんご生産指導要項 2024-2025」（公益財団法人青森県りんご協会）  
「農業技術体系 りんご編」（農山漁村文化協会）

#### 🍏 春の農作業安全確認運動実施中 🍏（3月1日～6月30日）

～スローガン「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」～

◆シートベルト、ヘルメット着用の徹底！

◆危険個所では原則、迂回を！

#### 🍏 農業危害防止運動実施中 🍏（6月1日～8月31日）

◆農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう！

